

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成22年3月19日			
	総事業費	59,377千円			
	交付金額	19,792千円			
	整備対象地域	多度志地区			
	事業の内容	<p>深川市は、本事業着手以前においても市内全域のブロードバンドゼロ地域解消に取り組んできた。住民(ブロードバンド誘致の会)や通信事業者と協力し、平成13年12月に深川市街地、平成17年12月には音江地区および納内地区にxDSLを誘致し、平成17年11月には深川市街地に光ブロードバンドサービスを誘致した。しかし、xDSLは、NTT交換ビルから約4Km程度しかカバーできなく、光ブロードバンドサービスは事業者の採算面での理由から拡大されていなかった。</p> <p>特に多度志地区については、事業者設備上の問題からADSLの提供もできない地域となっており、インターネットにISDNしか接続できないことから地域住民に早期のブロードバンドゼロ解消を要望されていた。</p> <p>そこで、ブロードバンド未提供エリアとなっていた、多度志地区270世帯に対しFTTHを整備、通信事業者にIRUで開放し超高速ブロードバンドサービスを提供した。</p>			
BB	サービス開始日	平成22年3月26日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成22年度末	平成26年度末
	整備地域の世帯数	270	270 (5,041)	270	— (5,041)
	加入世帯数	80	100 (1,728)	75	— (1,737)
	加入率(%)	29.6	37.0 (34.3)	27.8	— (34.5)
<p>本市では三度にわたって地域情報通信基盤整備推進交付金事業を実施。H23年度末以降の実績値については、H20(一次補正、二次補正)とH21(一次補正)の加入世帯が同一のNTT局舎に收容されており、事業毎の集計ができない為、3事業合わせた加入世帯の実績をカッコ書きで記載する。</p> <p>事業1(H20一次補正)：整備地域の世帯数 1,500世帯 最終加入目標 320加入 事業2(H20二次補正)：整備地域の世帯数 270世帯 最終加入目標 100加入 事業3(H21一次補正)：整備地域の世帯数 3,271世帯 最終加入目標 1,308加入</p> <hr/> <p>合計 3事業合わせた整備地域の世帯数 5,041世帯 最終加入目標 1,728加入</p>					

<p>評価及び課題</p>	<p>整備対象地域の光ブロードバンド環境の整備については、整備計画において目標としていた加入世帯数、加入率を達成することができており、十分評価できる。 加入者の増加は鈍化してきているが、スマートフォンなど無線によるブロードバンド利用環境も民間事業者により整備されており、今後はそれらと適切にすみ分けながら利用がすすむものと考えられる。 高齢者などの新規加入者の中には利活用についての知識が十分でないために加入をためらうあるいは加入してもあまり使用していないケースがあると考えられることから、そのような利用者の支援が必要である。</p>
<p>今後の取組及び方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者住民向けにパソコン教室を開催する。 ・サービス提供事業者と協力して、加入手続き等に不安をもつ住民からの要請を受けて訪問による加入支援を行う。